



# 「ふくしまの恵みの安全・安心のために」

● 農林水産業再生プロジェクト「ふくしまの農林水産業の再生」

ふくしまの誇る豊かな農林水産物の安全・安心を守るため、県では農用地の除染や放射性物質の吸収を抑制する技術の開発などに取り組んでいます。また、出荷時には、モニタリング検査をきめ細かく行い、安全で安心な農産物をお届けしています。今回は、産地における検査や米の全袋検査など、安全・安心へ向けた新たな取り組みについてご案内します。

## インタビュー

## 産地での検査（JA、出荷業者など）の強化に取り組んでいます

これまで、安全・安心の確保に積極的に取り組んできたJA伊達みらいの芳賀武志さんに、新たな検査強化について伺いました。



JA伊達みらい 営農生活部  
芳賀 武志さん

**昨**年の桃は出来が良く、早生のものは出荷・金額ともに好調でした。それが、稲ワラ・牛肉などから放射性物質が検出された頃から、安全性に対する懸念の影響が出始め、シーズンが終わってみると桃の売上

高は例年の3分の2と予想以上に落ち込みました。

今年はチームを組んで樹木の洗浄に取り組みました。また4月

からは新たに、JA伊達みらい管内の農産物は出荷前に放射性物質の全戸検査を実施。産地の責任として、安全性について出来る限りのことをやった上で、おいしいもの・いいものを提供したいと思っています。それには、情報を求める人に対して、しっかりと提示できるようにしておくことが大切。もし聞かれたら、「こうやって、こうなります」と、最終的な数字だけでなく、そこに至る取り組み、プロセスも伝えられるように準備したいです。

これからは、県外から実際に福島に来てもらって「福島の人には普通に生活して、地元のものも食べている」という姿に触れてもらう、といったことが大事だと思います。この積み重ねだと思います。相馬沖で取れたタコを地元のスーパーで売って、試食で皆さんが食べた、完売した…という報道がNHKの全国放送でされましたが、そういったことが継続的にされて、口コミでも広がっていけばうれしいですね。

# 「ふくしまの恵み」安全・安心の確保に向けた取り組み

## 1 新たに検査機器を導入します。

米や果実・野菜等の検査機器を、新たに県内各産地に導入します。

## 2 検査情報をわかりやすく提供します。

検査結果などの情報をわかりやすく提供する仕組みをつくれます。

## 3 検査の推進体制を整備します。

県・各地域に協議会を設置して、県・市町村・関係団体が一体となって検査を推進します。

## 4 消費者の皆さんへのPR活動を展開します。

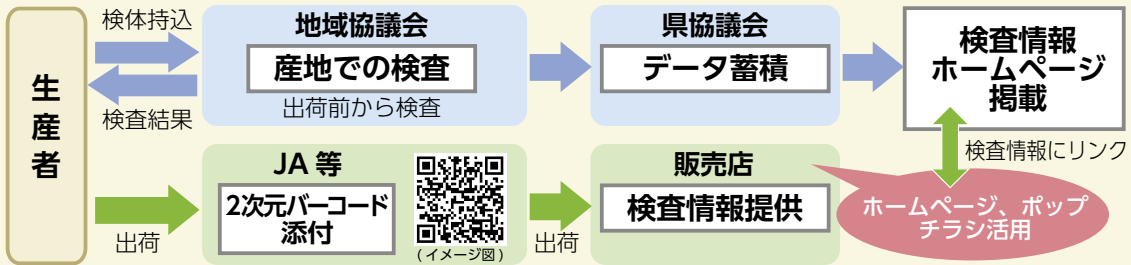
モモや米を中心に、県産農林水産物の素晴らしさや安全性を理解していただくため、車内広告やテレビCMなどによるPRを行います。

## 食卓に安全・安心な「おいしい!!」を届けるために、始めています。

果実  
野菜  
の場合

### 売り場で検査情報がすぐ見られます「見える化」の導入推進

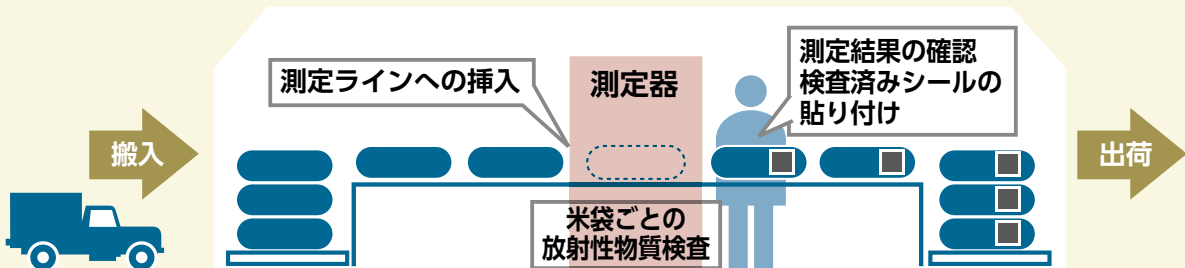
**新**たな検査機器を各産地に導入し、産地で実施する検査体制を整えることで、県が実施するモニタリング検査と二重の安全確認を行います。さらに、検査情報を見ただけのよう、**2次元バーコード**などを用いた安全性の「見える化」を、福島県の農産物を代表する桃から、順次導入します。



米  
の場合

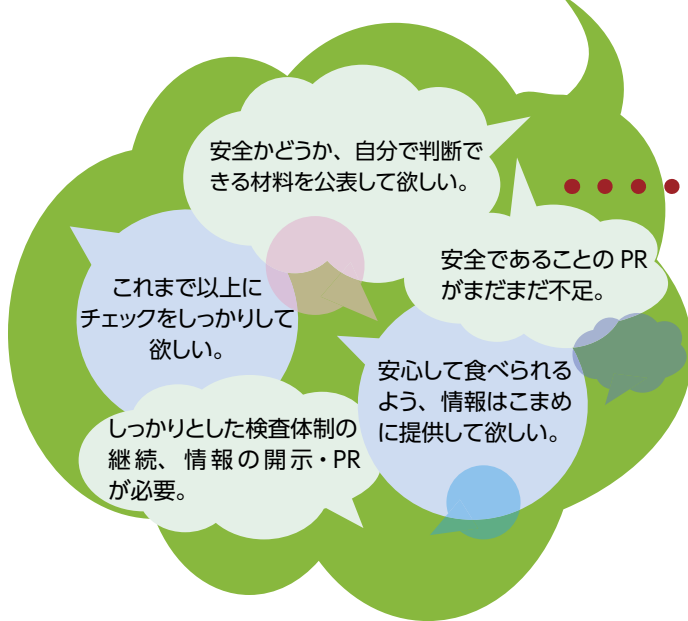
### 全てのお米を検査します「全袋検査」を実施

**米**は主食として常に口にしているものであることから、県民の皆さんが特に高い関心を持っている品目です。今年、新たに開発された米のベルトコンベヤー式検査機器を県内全域に導入し、**県内で生産される全ての米を検査**し安全確保に取り組んでいきます。安全性を確認した米袋には、検査済みシールを貼り付けて確認できるようにします。米の生産者の皆さんには、家族・親戚で消費する米を含め、本年生産した全ての米の検査を受けていただくようお願いいたします。



# 消費者の皆さんへ、「ふくしまの恵み」の安全・安心を伝えるために

食の安全・安心に関する県民の皆さんの声



## モニタリング検査結果を速やかに公表しています

農産物のモニタリング検査結果は、県ホームページや新聞などで速やかに公表しているほか、「ふくしま 新発売。」ウェブサイトから、品目別や地域別に簡単に検索できます。携帯電話からも、ご覧になれます。

なお、4月から、放射性物質の基準値が引き下げられ、検査結果が100ベクレル/kgを越えた品目については、出荷が制限され市場に流通していません。また、放射性物質の値についても、軒並み減少傾向にあります。



ふくしま 新発売。

検索



### 今の福島を見に行く ツアーの実施

6月29日

県では、首都圏の方々に、現在の本県の姿やモニタリング検査などの様々な取り組みを見ていただく、モニターツアーを実施しています。

今年3月にいわき市で開催した第1回目のモニターツアーに続き、第2回目のモニターツアーを福島市で開催しました。

参加者からは、「検査の仕組みが分かって安心できた」、「福島県産の野菜・果物を食べていきたい」などの声が寄せられました。



### お知らせ

#### 食の祭典

どちどら★共創フェア  
ふくしま満喫大2012

9月8日(土)、9日(日)  
ビッグパレットふくしま(郡山市)

入場  
無料

ごちそうふくしま満喫フェア2012

検索

## 知事 メッセージ



### 福島「食」に安全・安心を取り戻す

福島県知事 佐藤 雄平

「福島の夏」。私は、甘くみずみずしいモモを真っ先に思い浮かべます。ほかにも初夏のサクランボからはじまり、ぶどう、きゅうり、トマト…。福島の夏は彩り豊かなおいしい食べ物にあふれています。

四季折々に旬の食材があり、一年を通して新鮮でおいしいものが食べられる。それが福島です。

また、地域ごとに個性豊かな味覚や食文化が息づいていることも、福島県の大きな魅力であり、その「食」を支える農林水産業は、まさに本県の基幹産業です。

しかし、その農林水産業が、原発事故に伴う風評によって極めて厳しい状況に置かれています。

「農林水産業の復興なくして、福島県の復興なし」

豊かな自然に育まれた、多彩な農林水産物は福島県が誇る「宝」です。そうした思いから、県では、県内外の皆さんに安心しておいしく召し上がっていただけるよう、引き続き全力を注いで、しっかりと検査をし、結果を分かりやすくお知らせしてまいります。

また、これまで本県ゆかりの著名な方々やJAの皆さんと一緒に、私も直接、首都圏をはじめ全国の皆さんに本県農林水産物の魅力と安全性をお伝えしてまいりました。これからもさまざまなメディアの活用とあわせ、こうした取り組みにさらに力を入れてまいります。